

## 中野区教育大綱改定案について

中野区教育大綱改定案について、以下のとおり、作成したので報告する。

### 1 これまでの経過

#### (1) 中野区総合教育会議

- ア 開会日 令和5年2月10日(金)
- イ 議題 中野区教育大綱の改定について
- ウ 傍聴者数 8名
- エ 主な意見

- 方針第1について、『自分らしく』学べる」とあるが、メッセージでは「みんないっしょに学ぶ」という表現になっている。学び合えるという意味合いも加えた表現にするのがよいと感じる。
- 方針第1のメッセージにも「つながりの中で学び合える」等、「つながる」という表現を入れるとよいと感じる。
- 方針第1のメッセージで「まち」という表現が出てくるが、中野を連想させる表現であるため、よいと感じる。
- 方針第3のメッセージの「学びの場をつくっていきます」という表現について、施設等ハード面がうたわれている印象があるため、機会を増やし学びやすくするなど、ソフト面の意味合いも含めているということも伝わるとよいと感じる。
- 方針第3のメッセージに「スポーツ」という表現が入っていてよいと感じる。

## (2) 改定素案に係る意見交換会等の実施結果

### ア 意見交換会

開催日時	会場	参加者数
令和4年12月13日(火)	東部区民活動センター	1名
令和4年12月16日(金)	沼袋区民活動センター	3名
令和5年1月8日(日)	区役所	20名

### (意見の概要)

No	主な意見・質疑	区の考え方
1	方針第1の「つながりの中で自分らしく」という文言についてとても良いと感じた。自分らしく学ぶための主体性を育てることが大事だと考えるため、「主体性」という言葉が入っていると素敵と感じた。	「自分らしく」という表現の中で、「主体性を育てる」という意味合いが込められていると考えている。
その他意見		
1	大綱素案は、現教育大綱を全面的に見直して新しい教育を行おうという強い意志が感じられた。	
2	大綱素案は、総合教育会議における区民の意見も取り入れてできたものであると感じる。	
3	方針のそれぞれのメッセージについて、子どもたちでもわかりやすく、希望を持つことができるメッセージだと感じる。	
4	子どもたち自身の思いを尊重して行政はそのための学びの場を準備することが明記されていると感じる。	
5	国際比較においても日本の子どもたちは自己肯定感が低く、また、中野区の調査においても同様の結果が出ている。教育大綱の文言では子どもたちの自己肯定感を育てていくことについてうたえていると感じた。	

### イ 区民等から、電子メール等で寄せられた意見

0件

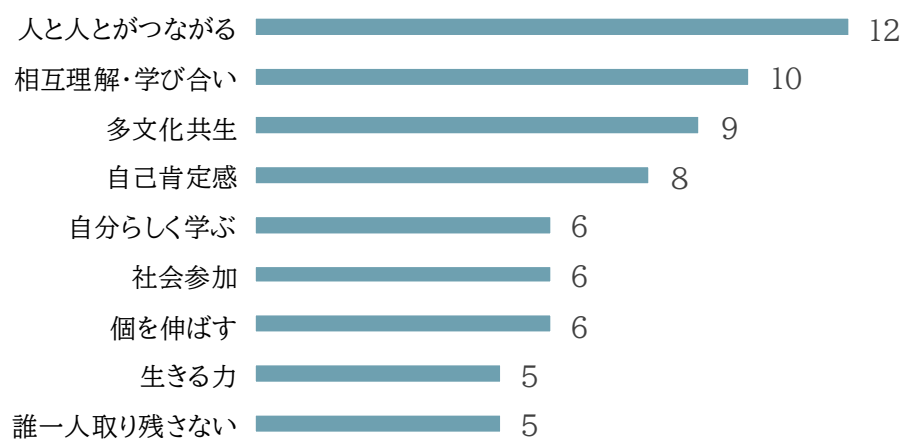
## ウ アンケートの実施結果

令和4年12月2日（金）から令和5年1月8日（日）まで、中野区公式ホームページに掲載したアンケートにより、今後の中野の教育についての意見の募集を行った。（一部抜粋）

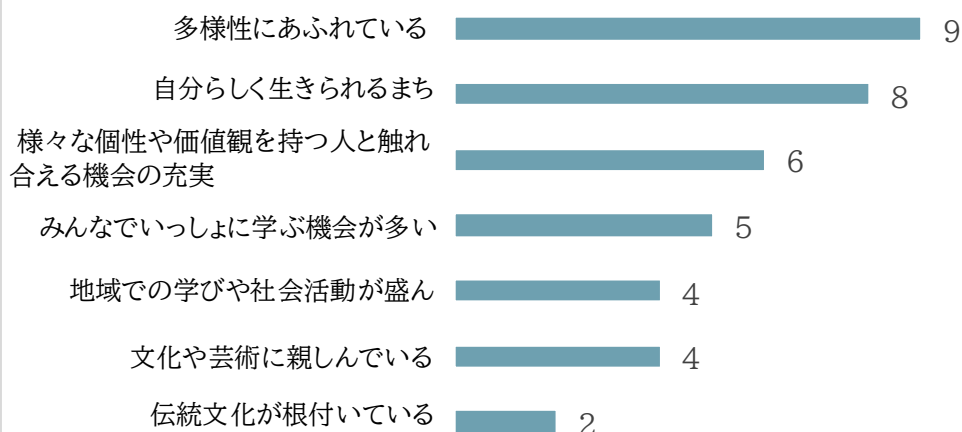
回答者：15名

（10歳代 3名、20歳代～30歳代 4名、60歳代～70歳代 8名）

今後の中野の教育理念(あるべき姿)にふさわしいキーワードは何だと思いますか。  
(複数回答可、件数)



あなたがイメージする「中野らしさ」とは何ですか。(複数回答可、件数)



## 2 改定素案から改定案への変更点

項目	変更内容
はじめに(後段)	『 <u>このようなまちの実現のため、</u> 』を 『 <u>つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまちの実現のため、</u> 』に修正 (理由) 「このような」について、よりわかりやすく、具体的に示した。
方針第1 (メッセージ)	『 <u>みんないっしょに学ぶことのできる教育の場を</u> 』を 『 <u>みんないっしょに学ぶことのできる教育のまちを</u> 』に修正 (理由) 各々の学びの「場」ではなく、学校や地域、学校教育や社会教育など、 より広く展開していくイメージとなる表現とした。

## 3 中野区教育大綱改定案 別紙のとおり

## 4 今後のスケジュール

令和5年3月 改定案に係るパブリック・コメント手続の実施  
(3月22日から4月12日までを予定)

4月 中野区教育大綱策定

## 中野区教育大綱改定案

(はじめに)

今、私たちを取り巻く環境は、長引く新型コロナウイルス感染症による生活・経済への影響や、不安定化する国際情勢など、先行きが不透明で、将来の予測が難しいものとなっています。

これまでの日常が失われる中で、コミュニケーションや体験学習の機会が減るなど、子どもたちの学びを取り巻く環境にも大きな影響が出ています。グローバル化が進む中で、世界的な諸課題についても、自らに関わるものとして捉えていく視点が必要となってきています。加えて、デジタル化の進展など、地域の課題を解決しながら新たな価値をつくる、超スマート社会（Society5.0）を目指した取組も急速に進んでいます。

中野区は、数多くの国と地域からの人や、性的マイノリティ、障害のある人など、様々な個性や価値観を持つ人が暮らす、多様性にあふれたまちです。また、子どもから高齢者まで、すべての世代が文化や芸術に親しみ、地域における学びや社会活動にも参加しながら、つながりを築いてきたまちでもあります。

このような中野のまちの特長を生かしながら、環境変化の大きい

今こそ、人と人との交流やつながりを広げ、誰一人取り残されることのない、安心できる地域社会を実現し、一人ひとりが豊かな人生を歩むための新たなチャレンジを応援していきます。

つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまちの実現のため、この教育大綱を、中野の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や施策の根本となる方針として定めます。

中野区長 酒井 直人

(基本理念)

中野のまちの強みを生かし、一人ひとりの「生きる力」を高めていくため、新たな中野区教育大綱では、「つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまち なかの」を基本理念とします。

- 学校や地域で、誰もが「自分らしく」学べる。
- 学びや参加の中で、人と人が「つながる」。
- そして、つながりの中で、「新たな活力」が生まれる。

(方針)

第1 誰もが 『自分らしく』 学べる教育の推進

～ 全員が参加できる社会の実現を目指し、

学校・地域での学びを支援する。 ～

自己肯定感やチャレンジする力、学び合う心や健やかな身体が育つとともに、学びの場を通して社会参加が進み、自分らしく生きられるまちを築けるよう、学校教育や社会教育の場において、個性を生かした教育を推進します。

－ メッセージ －

だれでも、自分がやりたいことにチャレンジでき、みんないっしょに学ぶことのできる教育のまちをつくっていきます。



## 第2 中野らしさを生かした教育の推進

～ 多様性と地域のつながりを強みにした教育を実現する。 ～

自己と他者への理解が進み、多様性が尊重され、地域とのつながりで子どもの「生きる力」が育つよう、学校と地域の連携、教育に関わる人材の育成などを進めます。

－ メッセージ －

いろいろな人が住む中野のまちで、みんなが違いを大切にしながら、おたがいに学び合うことのできる教育の場をつくっていきます。

### 第3 学びの環境の整備

～ 将来にわたって学び続けられるよう、

より良い教育環境を整える。 ～

学びの場が確保され、誰にでも学ぶ機会が保障されるとともに、文化・芸術・スポーツに親しめるよう、施設などの着実な整備や多様な学びの場づくりを進めます。

－ メッセージ －

だれにでも、文化・芸術・スポーツなどが楽しめる学びの場をつくっていきます。